

鋁工業指數參考圖表集
(平成29年6月速報)

平成29年7月31日

經濟解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成29年6月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

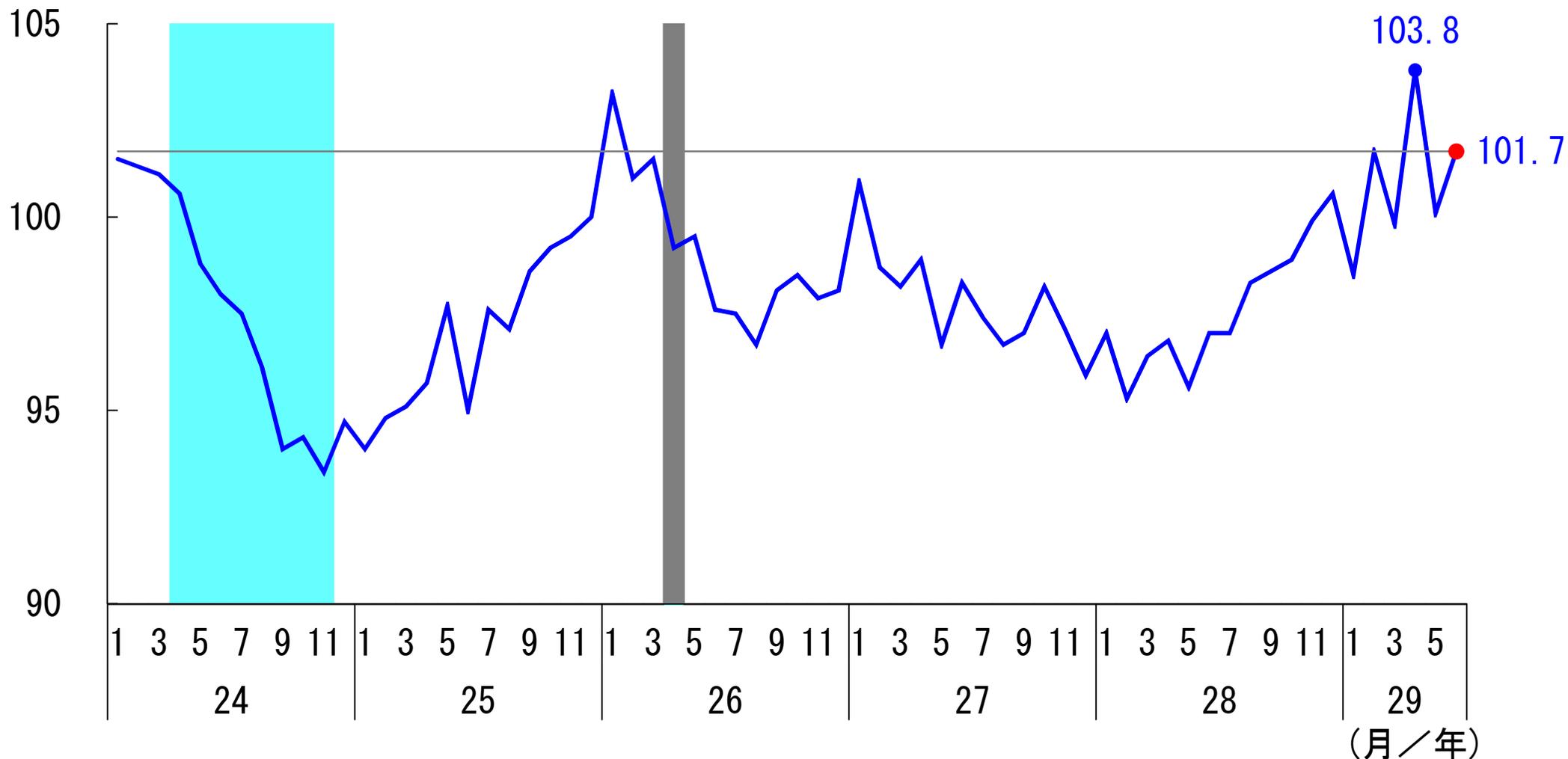
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	101.7	100.5	108.9	110.1
前月比	1.6%	2.3%	-2.2%	-2.1%
指数水準	H29.4 103.8以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H29.4 101.1以来 I H20.1,2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H29.2 108.1以来 ①H23.3 97.7 ②H22.8 98.3 ③H21.12, H22.9 99.1	H28.12 108.9以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	2か月ぶり+ (H29.4以来)	2か月ぶり+ (H29.4以来)	7か月ぶり- (H28.11以来)	2か月連続- (H29.5~当月)
前月比幅	H29.4 4.0%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H29.4 2.7%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H23.3 -5.8%以来 ①H23.3 -5.8% ②H21.2 -3.9% ③H21.3 -3.1%	H28.11 -3.7%以来 ①H23.6 -11.7% ②H21.6 -6.7% ③H21.3 -6.0%
前年同月比(原指数)	4.9%	5.1%	-3.1%	-4.5%
前年同月比の動き	8か月連続+ (H28.11~当月)	8か月連続+ (H28.11~当月)	13か月連続- (H28.6~当月)	8か月連続- (H28.11~当月)
前年同月比幅	H29.5 6.5%以来 I H22.3 29.2% II H22.2 28.8% III H22.4 23.8%	H29.5 5.4%以来 I H22.3 28.4% II H22.2 27.0% III H22.4 25.4%	H29.3 -4.0%以来 ①H21.12 -17.6% ②H22.1 -16.8% ③H21.11 -16.4%	H29.3 -5.1%以来 ①H22.2 -34.0% ②H22.3 -33.8% ③H22.1 -32.1%

1) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数の動向

- ・平成29年6月の鋳工業生産指数は、101.7(前月比1.6%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成29年4月の103.8以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。
 3. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

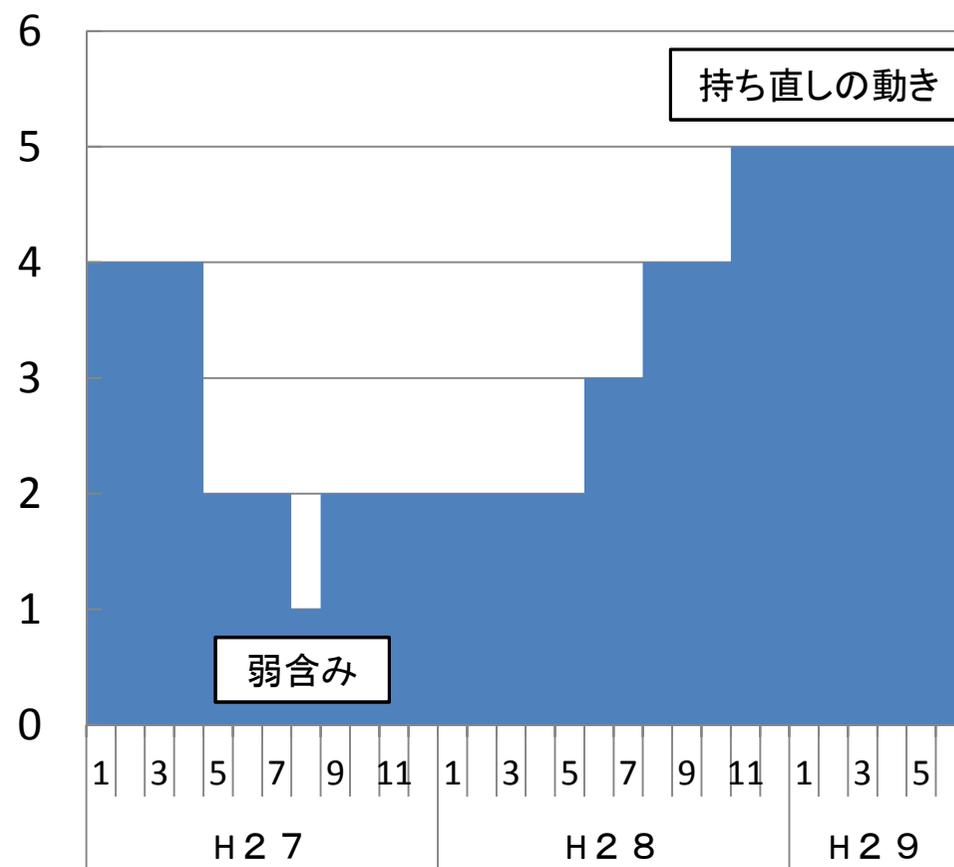
平成29年6月の鉱工業生産の基調判断

「生産は持ち直しの動き」

基調判断の推移

- ・平成26年12月～平成27年4月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成28年11月～
「生産は持ち直しの動き」

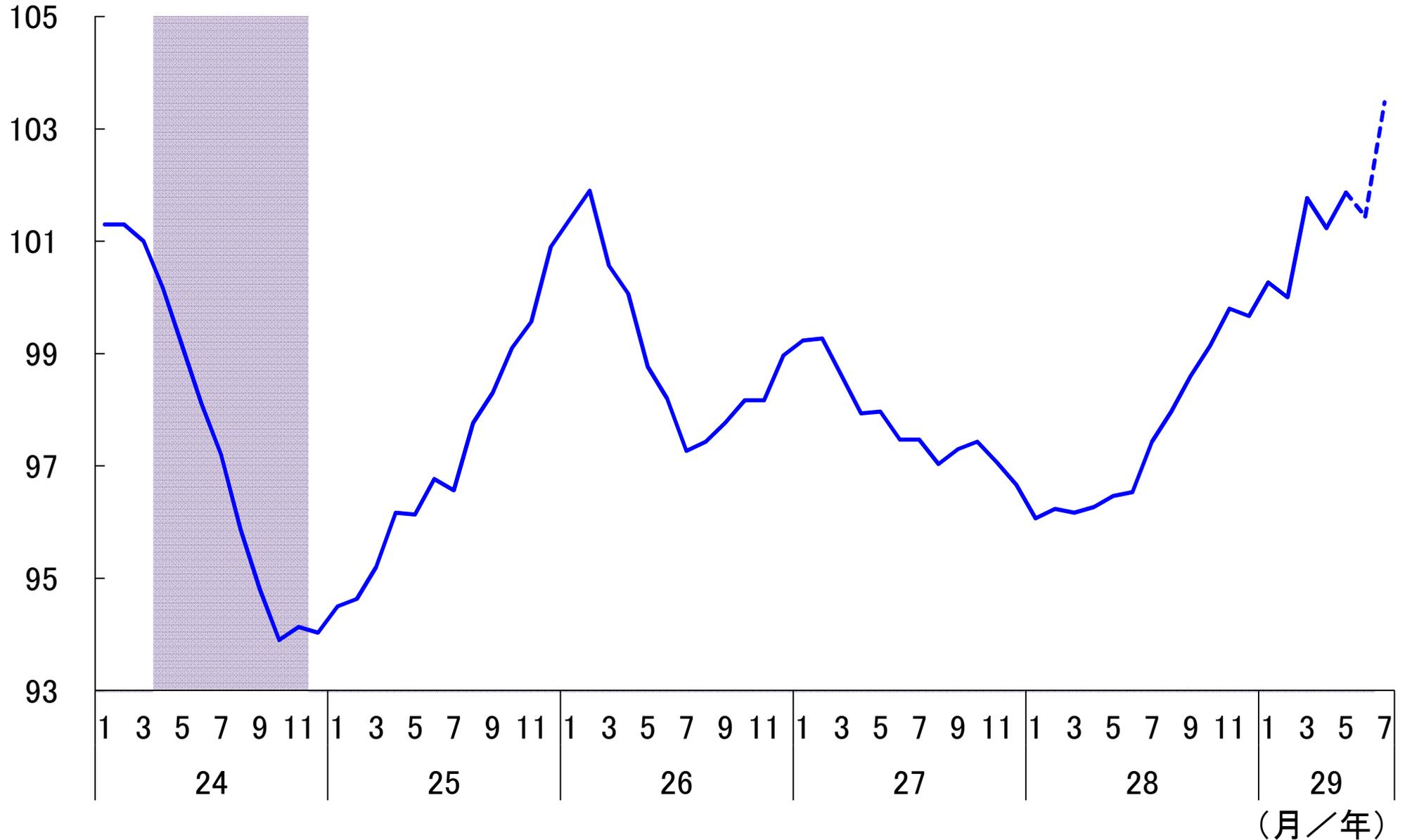
基調判断の変化



(注)平成27年8月の「生産は弱含み」を1として、基調判断が上方修正されたら一律で1上昇、下方修正されたら一律で1低下というルールで作成。

参考：鋳工業生産指数（3か月移動平均値）の動向

(22年=100、季節調整済)



(注) 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。

平成29年6月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業	4.2%	50.2%
	品目	乗用車	7.4%	33.4%
		自動車部品	4.4%	18.7%
	2位の業種	化学工業（除. 医薬品）	3.4%	21.4%
	品目	化粧品	3.8%	7.5%
		プラスチック	5.0%	4.6%
	3位の業種	電気機械工業	5.0%	20.4%
品目	回転電気機械	5.7%	4.0%	
	電気計測器	10.3%	3.8%	
鉱工業生産を低下方向へ引張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	電子部品・デバイス工業	-2.6%	-14.3%
	品目	集積回路	-9.5%	-22.7%
		半導体素子	-5.9%	-1.8%
	2位の業種	その他工業	-0.8%	-2.3%
	品目	印刷業	-2.5%	-2.6%
		家具工業	-1.9%	-0.8%
	3位の業種	鉄鋼業	-0.4%	-1.0%
品目	鉄素製品（含. 鋼半製品）	-3.5%	-1.9%	
	鋼管	-8.2%	-0.7%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成29年6月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	7.4%	33.4%
	2位	自動車部品	4.4%	18.7%
	3位	ボイラ・原動機	18.2%	11.8%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	-15.1%	-24.3%
	2位	集積回路	-9.5%	-22.7%
	3位	産業用ロボット	-6.8%	-5.9%

<財別＝用途別>

		解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	自動車用エンジン	7.5%	7.6%
		アクティブ型液晶素子（中・小型）	10.9%	6.7%	
		耐久消費財	普通乗用車	6.7%	19.5%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	小型乗用車	11.4%	7.4%	
		建設財	橋りょう	41.4%	5.9%
		鉄骨	11.5%	2.2%	
資本財 （除. 輸送機械）	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	一般用蒸気タービン	79.7%	6.3%
		分析機器	17.8%	4.8%	
		非耐久消費財	柔軟仕上げ剤	-10.2%	-1.2%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	美容液	-3.2%	-1.2%	

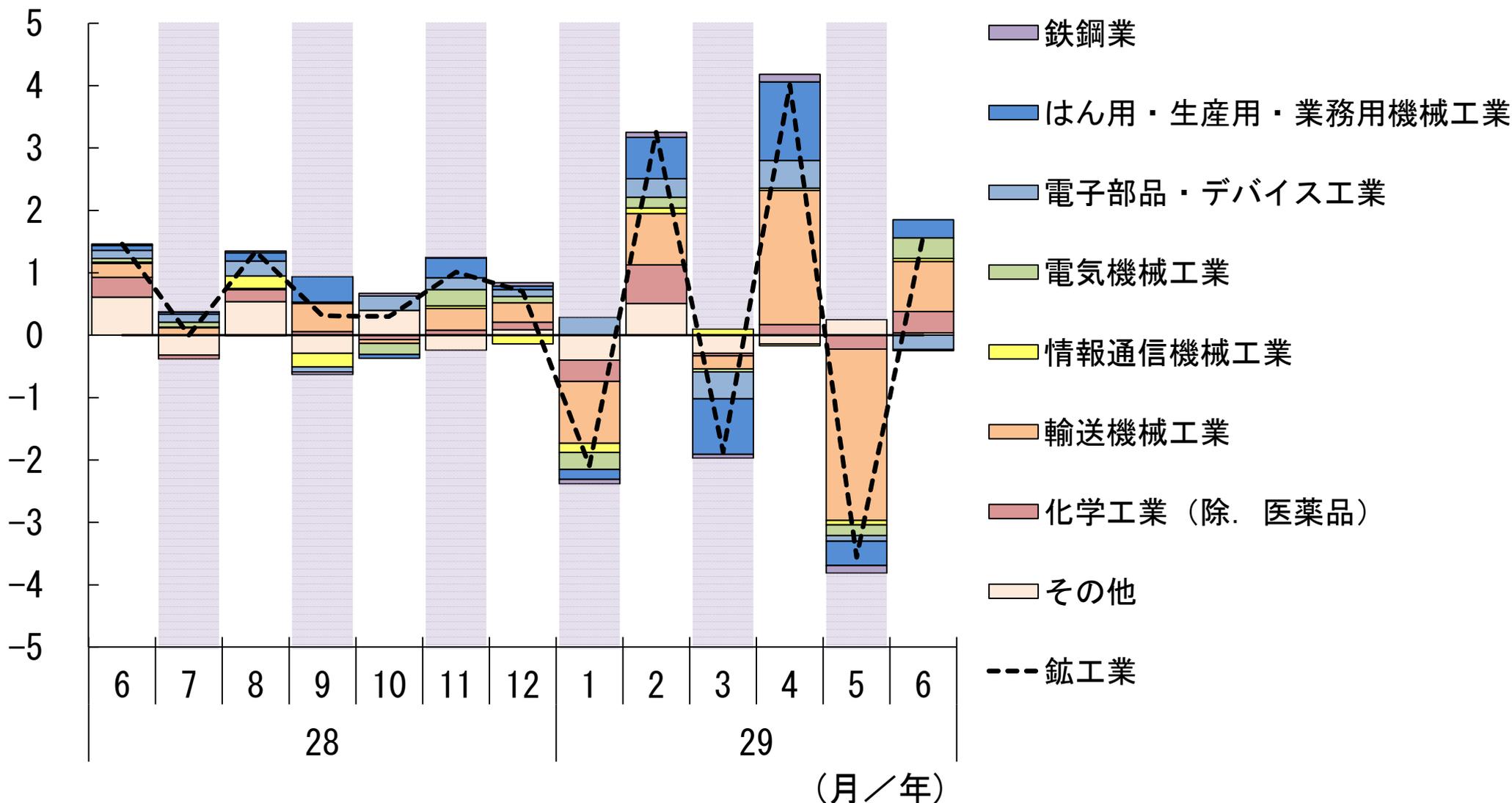
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

（注）全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 平成29年6月の生産指数は、電子部品・デバイス工業などが低下したものの、輸送機械工業などが上昇したため、前月比1.6%の上昇。

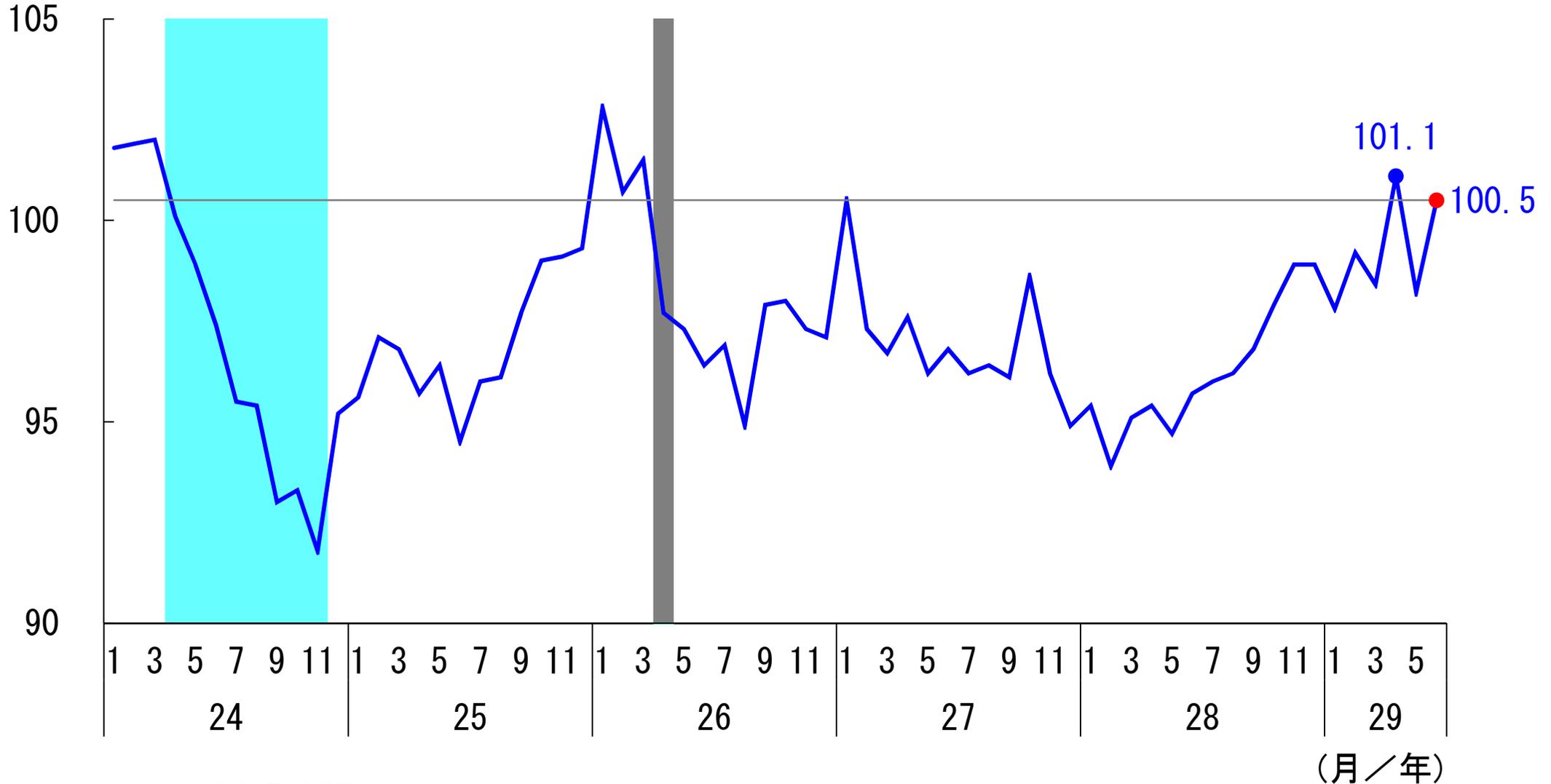
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

- ・平成29年6月の鋳工業出荷指数は、100.5(前月比2.3%)と2か月ぶりの上昇。
- ・平成29年4月の101.1以来の指数水準。

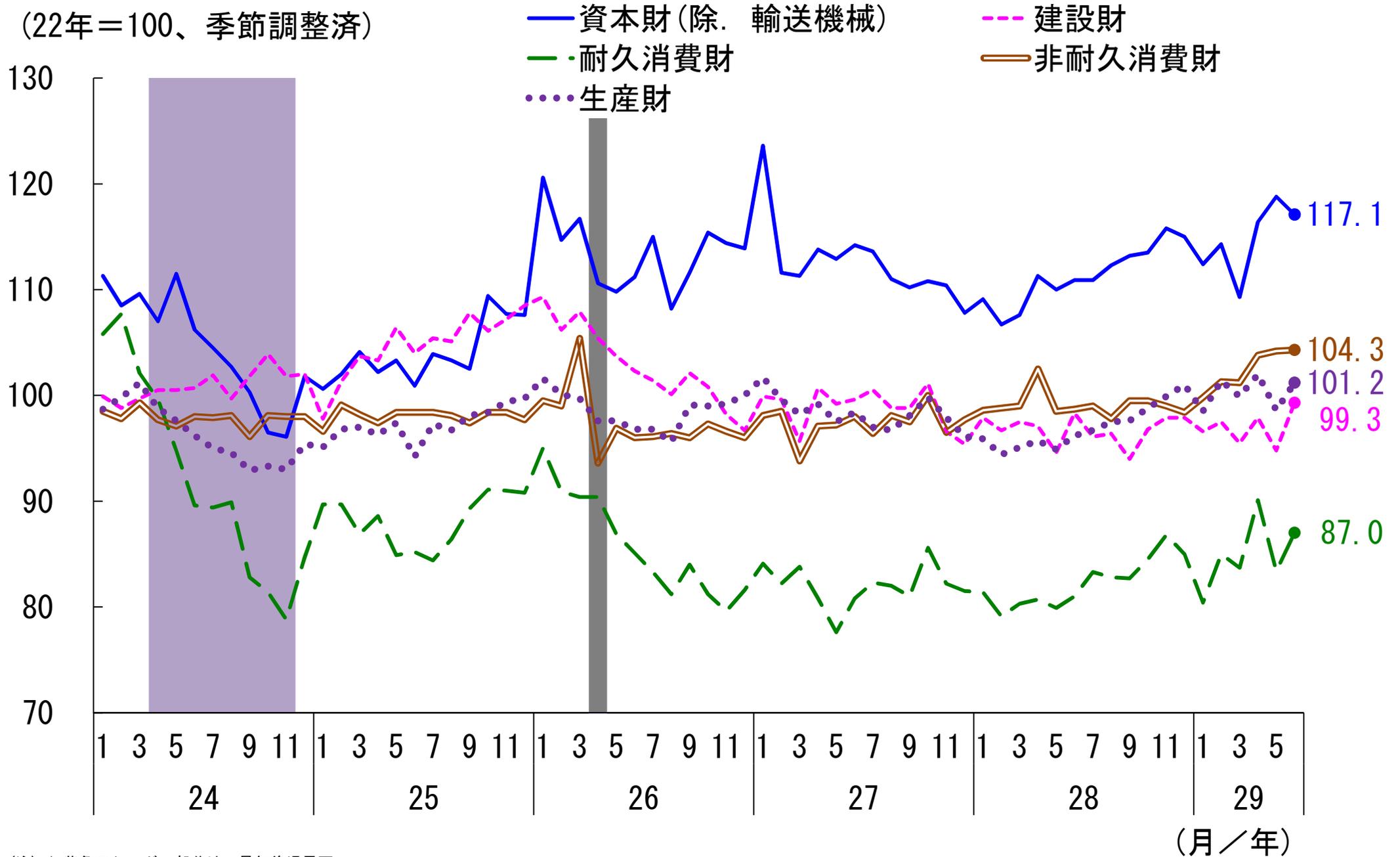
(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
 2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)

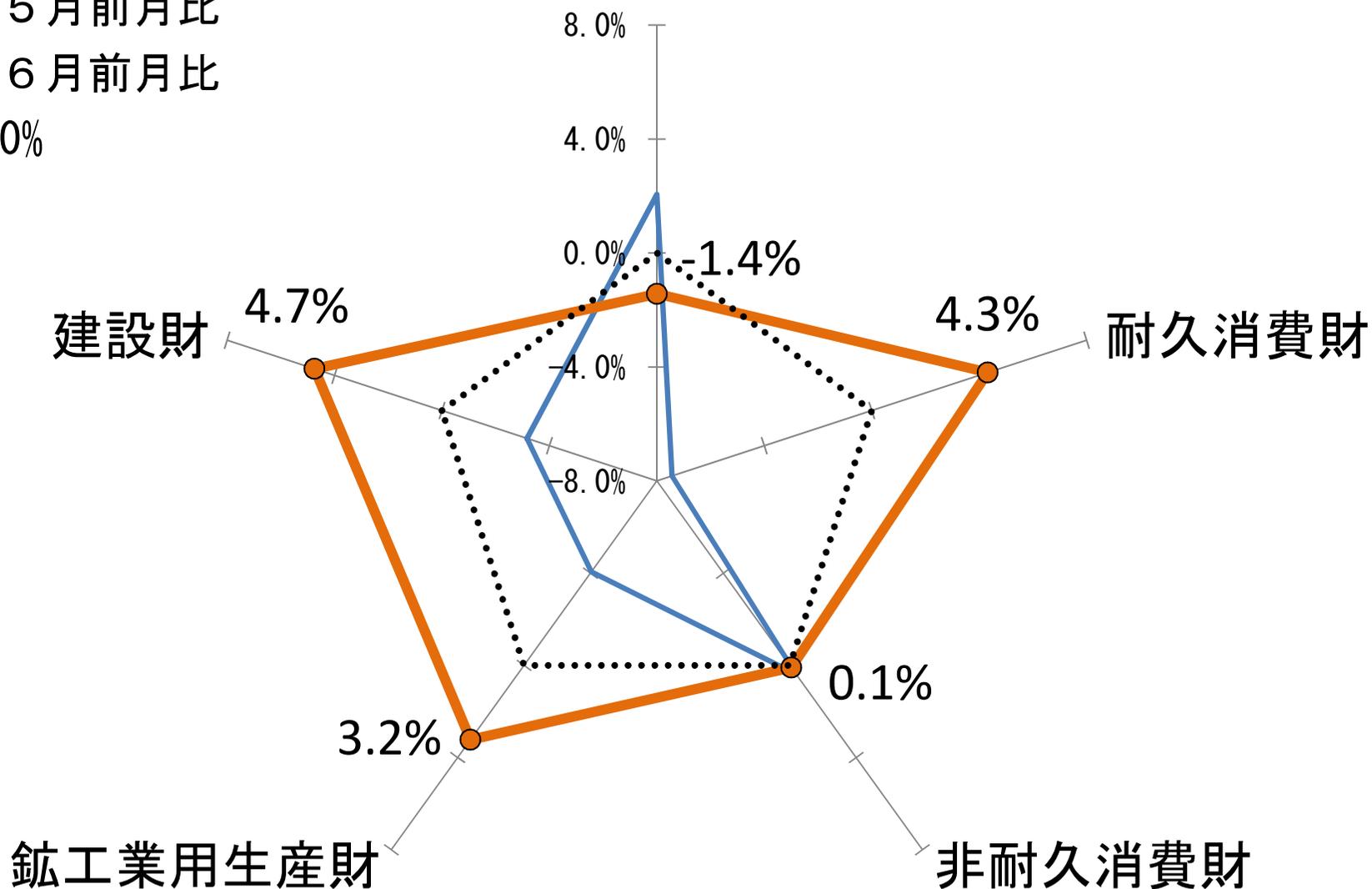


(注) 1. 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の前月比比較（平成29年5月、6月）

資本財(除. 輸送機械)

- 5月前月比
- 6月前月比
-0%



平成29年6月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

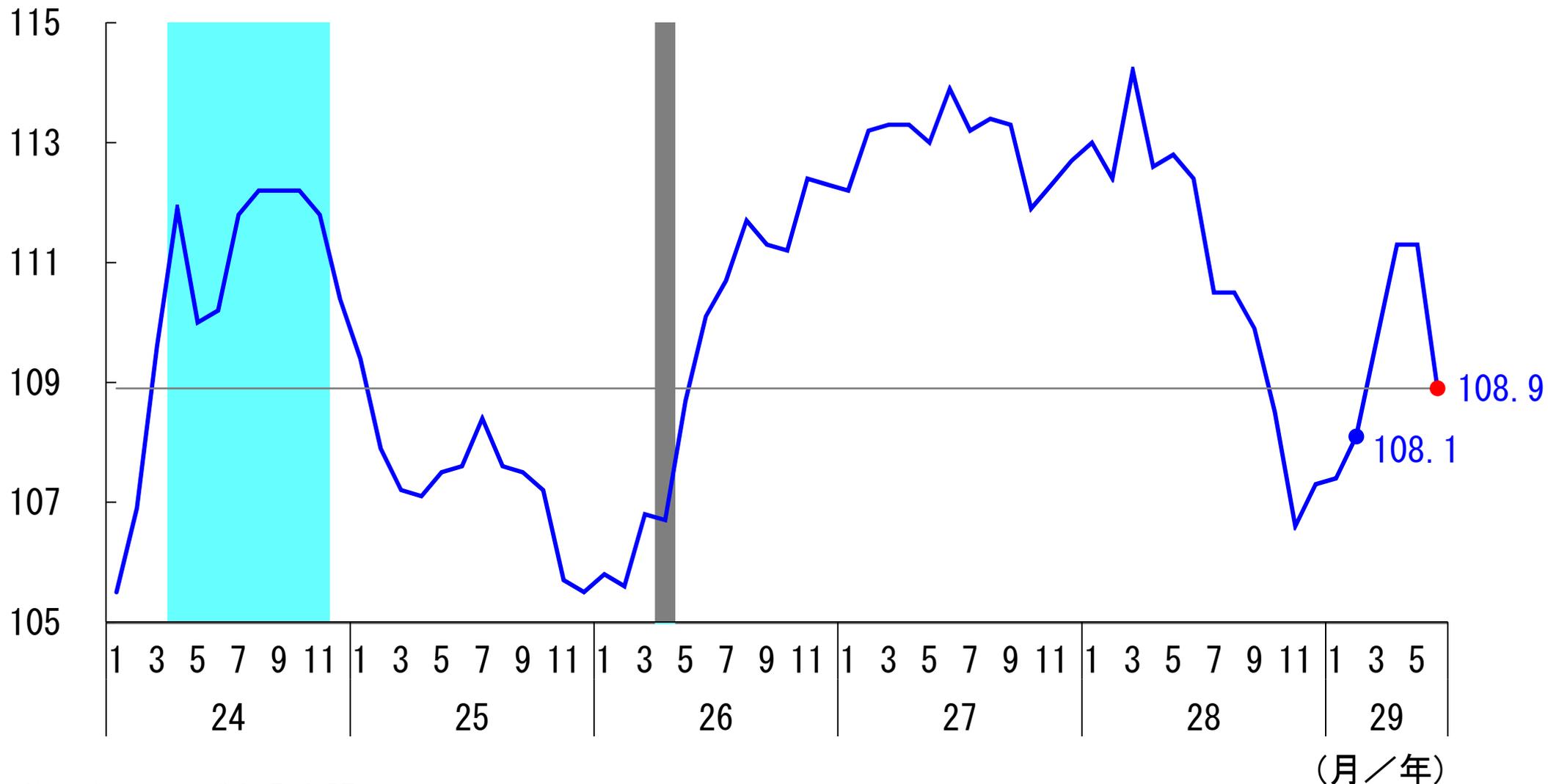
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	2.6%	56.9%
		自動車用エンジン	8.3%	5.6%
		駆動伝導・操縦装置部品	4.1%	4.1%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	4.3%	23.8%
		普通乗用車	6.4%	18.1%
		小型乗用車	16.8%	11.5%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	4.7%	10.8%
		橋りょう	42.2%	3.4%
		鉄骨	11.4%	1.7%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	0.1%	0.5%
		ファンデーション	15.6%	1.6%
		ガソリン	1.7%	1.2%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	-1.4%	-8.7%
		フラットパネル・ディスプレイ製造装置	-23.8%	-6.3%
		半導体製造装置	-9.5%	-6.3%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

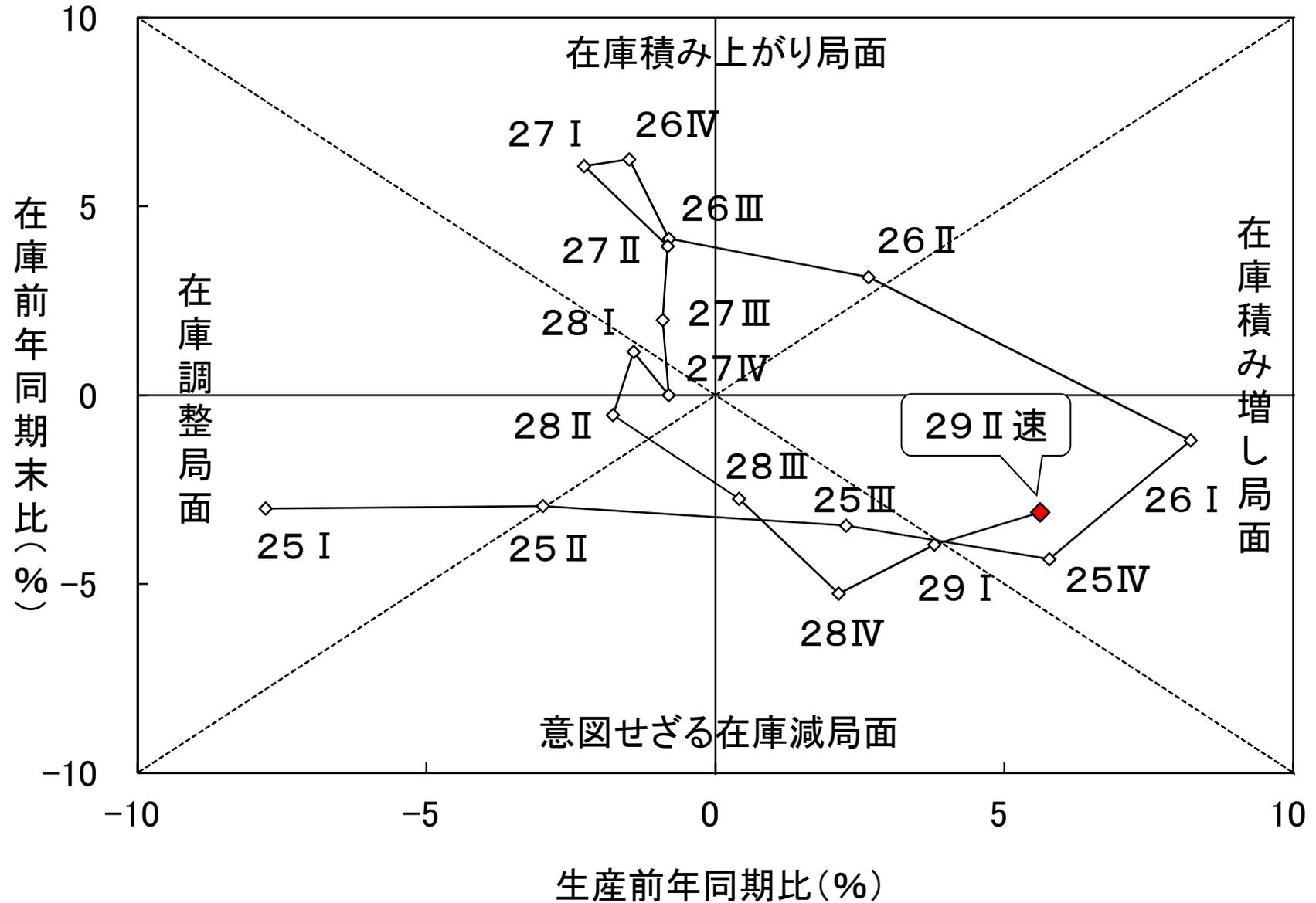
- ・平成29年6月の在庫指数は、108.9(前月比-2.2%)と7か月ぶりの低下。
- ・平成29年2月の108.1以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

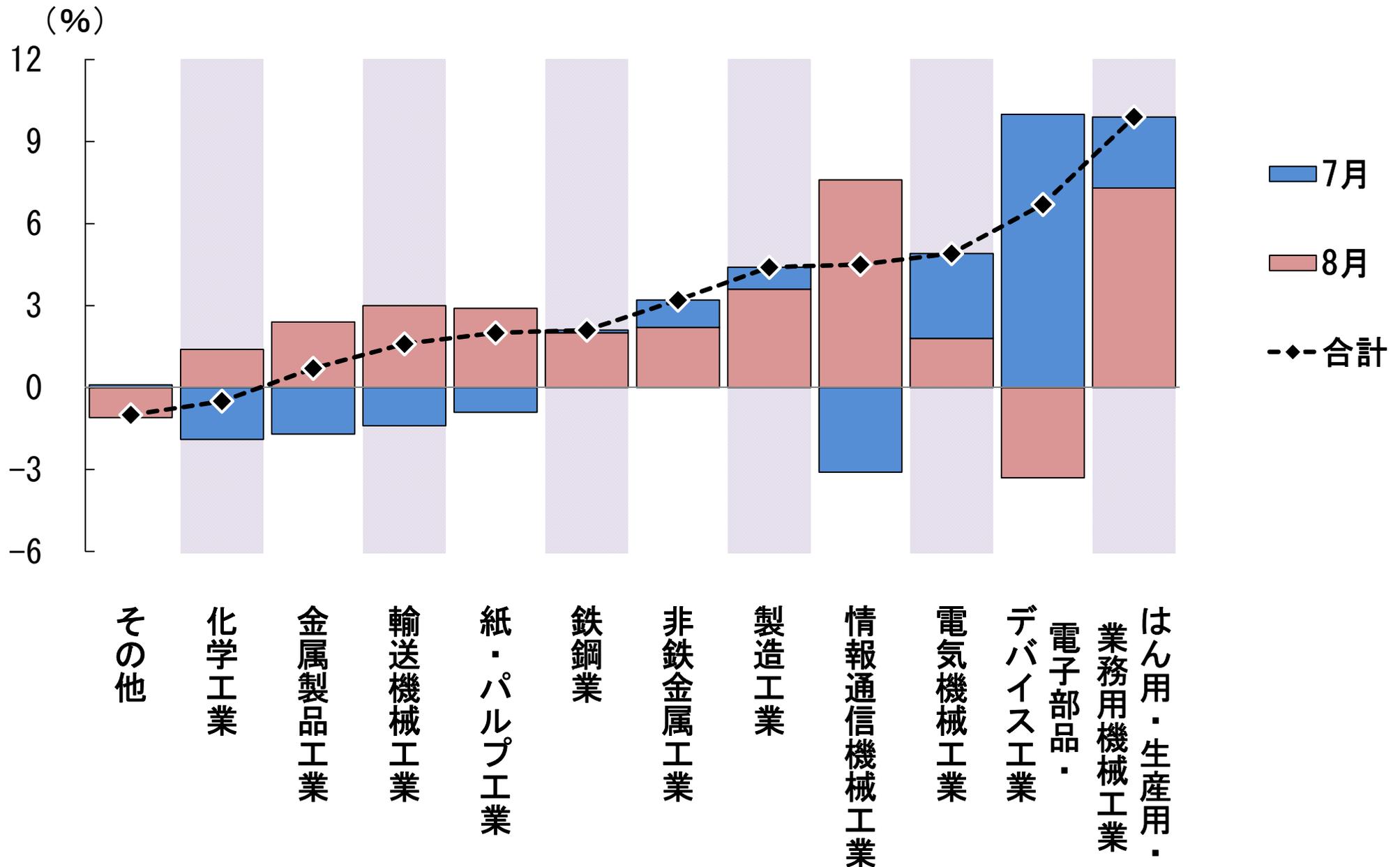


(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鋁工業の在庫循環図



2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



平成29年7月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
電子部品・デバイス工業	10.0%
はん用・生産用・業務用機械工業	2.6%
電気機械工業	3.1%
非鉄金属工業	1.0%
その他	0.1%
鉄鋼業	0.1%

低下寄与業種	計画前月比
紙・パルプ工業	-0.9%
金属製品工業	-1.7%
情報通信機械工業	-3.1%
化学工業	-1.9%
輸送機械工業	-1.4%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成29年8月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
はん用・生産用・ 業務用機械工業	7.3%
輸送機械工業	3.0%
情報通信機械工業	7.6%
電気機械工業	1.8%
化学工業	1.4%
金属製品工業	2.4%

上昇寄与業種	計画前月比
鉄鋼業	2.0%
紙・パルプ工業	2.9%
非鉄金属工業	2.2%
低下寄与業種	計画前月比
その他	-1.1%
電子部品・ デバイス工業	-3.3%

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成29年4-6月期の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

四半期	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	101.9	99.9	108.9	112.4
前期比	1.9%	1.4%	-0.7%	0.8%
指数水準	H26 I 101.9以来 (超)H20Ⅲ 110.5以来 I H20 I 116.8 Ⅱ H20 Ⅱ 114.8 Ⅲ H20 Ⅲ 110.5	H26 I 101.7以来 I H20 I 118.2 Ⅱ H20 Ⅱ 115.0 Ⅲ H20 Ⅲ 109.4	H28Ⅳ 107.3以来 ①H23 I 97.7 ②H21Ⅳ, H22Ⅲ 99.1 ③H22 I 99.6	H28Ⅲ 114.3以来 I H21 I 150.7 Ⅱ H21 Ⅱ 132.4 Ⅲ H20Ⅳ 123.8
前期比の動き	5期連続+ (H28Ⅱ～当期)	2期ぶり+ (H28Ⅳ以来)	2期ぶり- (H28Ⅳ以来)	2期連続+ (H29Ⅰ～当期)
前期比幅	H26 I 2.3%以来 I H21Ⅳ, H23Ⅲ 7.1% Ⅱ H21Ⅲ 6.1% Ⅲ H21Ⅱ 5.3%	H28Ⅳ 2.4%以来 I H23Ⅲ 9.0% Ⅱ H21Ⅳ 7.7% Ⅲ H21Ⅲ 6.3%	H28Ⅳ -2.4%以来 ①H21 I -7.2% ②H21Ⅱ -5.9% ③H23 I -4.2%	H29Ⅰ 1.6%以来 I H21 I 21.7% Ⅱ H20Ⅳ 18.1% Ⅲ H23Ⅱ 10.5%
前年同期比(原指数)	5.6%	5.1%	-3.1%	-3.1%
前年同期比の動き	4期連続+ (H28Ⅲ～当期)	3期連続+ (H28Ⅳ～当期)	5期連続- (H28Ⅱ～当期)	4期連続- (H28Ⅲ～当期)
前年同期比幅	H26 I 8.2%以来 I H22 I 24.8% Ⅱ H22Ⅱ 19.7% Ⅲ H22Ⅲ 14.6%	H26 I 7.4%以来 I H22 I 24.8% Ⅱ H22Ⅱ 20.6% Ⅲ H22Ⅲ 13.8%	H29Ⅰ -4.0%以来 ①H21Ⅳ -17.6% ②H21Ⅲ -12.4% ③H22 I -10.5%	H29Ⅰ -4.5%以来 ①H22 I -33.2% ②H22Ⅱ -25.4% ③H22Ⅲ -16.1%

1) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数前期比 業種別の影響度合い

- 平成29年4-6月期の生産指数は、はん用・生産用・業務用機械工業などが上昇したため、前期比1.9%の上昇。

(季節調整済、前期比、%、%ポイント)

